



<取組概要>

- SDGsをテーマにした日本初の地上波レギュラー番組「フューチャーランナーズ~17の未来~」を放送。
- テレビの強みである「発信力」と「クリエイティブな力」を活かして、
①SDGsの認知度を上げること、②SDGsを身近に感じてもらうこと、③パートナーシップを生むきっかけ作りを目的に、SDGsの課題解決に取り組む「ランナーたち」を分かりやすく映像で紹介している。

<選出のポイント>

- メディアとして、SDGsをテーマにしたレギュラーミニ番組を制作・放送し、SDGsの普及に貢献。



SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	テレビを通じてSDGsを広めることは国際社会においても実施可能なロールモデルとなり得る。
包摂性	番組では、あらゆる立場に置かれた人に目を向け、視聴者へダイバーシティかつインクルーシブな社会を提示。
参画型	テレビでSDGsを発信することで、視聴者が持続可能な社会の実現に参画できるきっかけを提供している。
統合性	経済・社会・環境の三分野を番組という枠組みの中で統合的に視聴者へ伝えている。
透明性と説明責任	番組という性質上、当取組は全て放送を通じて公開されており、更に番組サイト・CSRのサイトでも公表している。

